

『消費者金融白書』からの間違った引用について

2006年5月

JCFA(日本消費者金融協会)

JCFA(日本消費者金融協会)では、平成13(2001)年版『消費者金融白書』より、それまでのJCFA及びNIC会の会員社向け合同アンケートに加えて、会員社の有人店舗に来店した利用者を対象に、消費者金融の利用状況や評価・認識、あるいは今後の利用意向や課題点など、利用者の率直な意見を把握するためのアンケート調査を行ってまいりました。

当アンケート調査結果は、わが国における消費者金融業界の実情を示すものとして各方面に有効に利用されていますが、最近一部マスコミなどにおいて、『消費者金融白書』中に記載の平均借入件数や平均借入残高について内容をよく理解しないまま間違えて引用するケースが目立っているため、改めて以下の通り補足いたします。

1. 一部マスコミは、平成16(2004)年版『消費者金融白書』に記載のアンケート回答者の消費者金融利用状況(「平均利用社数は3.3社、平均借入金額は約145万円」)を、あたかもわが国の消費者金融利用者の平均像であるかのように報じています。
2. しかしながら、これはあくまでも当アンケートに回答して頂いた顧客(東京:204サンプル、大阪:203サンプル、計:407サンプル)の利用状況であり、統計学的に消費者金融市場の全体の様子を知ることが目的に正確な標本抽出によって算出したものではありません。
3. 統計上意味のある数字は消費者金融市場全体を母集団としたものとなります。その際の参考数値としては、消費者金融業界の信用情報機関である『株式会社ジャパンデータバンク』(管轄地域:東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県)発行の「データバンク90号」の最新統計情報によることが実情により近いと考えられますので下記します。

【2005年12月末現在最新統計情報】

平均借入件数

2.36件(個人貸付無担保無保証以外のものも含む)

個人貸付無担保無保証1件あたりの平均残高(会員所在地型)

48.0万円

(株式会社ジャパンデータバンク発行「データバンク90号」P10~11より抜粋)

顧客1人当たりの推計借入残高(×)

113万2800円 「データバンク90号」データからの推測値

なお、上記データは日本で最も所得水準の高い首都圏の顧客の借入金額のため、全国平均数値はこれよりも若干低いことが予想されます。また、利用者の一般的な借入実態を把握するためには、平均値だけではなく統計学上の中央値や最頻値も考慮すべき、との指摘のあることも申し添えます。

以上

本レポートに関するお問合せ先:

JCFA(日本消費者金融協会)「消費者金融白書」作成委員会事務局

E-mail: info@jcfa.net

- * 本レポートの著作権一切はJCFAに帰属します。
- * 本レポートで使用された図表や文言を無断で転用することを禁止します。
- * 本レポートに関する電話、FAXでのお問合せは受け付けておりません。